

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。今年が「戌年」ですので、今月は犬の本を紹介しします。

冬休みにかりた本は、1月16日(火)までに返しましょう。1月9日(火)は返却のみです。貸し出しは、1月10日(水)からになります。3学期も本をたくさん読みましょう。



### 犬のおはなし

『ふしぎな黒イヌ』(十二支むかしむかし) 谷真介 / 佼成出版社

なまけ者のむすこが、夜中になるとそっと家を出て行くイヌのブックのあとをつけていくと、ほらあなのむこうに美しい野原が広がっていました。あの世とこの世をつなぐふしぎなおはなしです。



『ハリーのセーター』ジーン・シオン / 福音館

ハリーは おたんじょうびにおばあちゃんからセーターをプレゼントしてもらいました。でも ばらのもようが きにいりません。「どろんこハリー」のシリーズです。



『しあわせの子犬たち』メアリー・ラバット / 文研出版

エリザベスは、夏休みにやってきたおばあちゃんの農場で犬のエルシーの出産に立ち会います。ふたりは6匹の子犬たちの世話をします。やがて、子犬たちをほんとうに必要としている飼い主を探して広告を出しますが…。



『まぼろしの小さい犬』フィリパ・ピアス / 岩波書店

ベンの望みは犬を飼うことでした。しかしロンドンに住むベンには、それが許されません。田舎の祖父母の家で犬のいる生活を体験してからは、ベンの犬への思いは強まるばかりでした。ベンは自分の想像で犬を生み出すのですが、本当に手に入れられるのでしょうか。



『おもちのきもち』かがくいひろし / 講談社



お正月にかざられていたかがみもちが食べられるのがこわくなって、ベッベったんとにげだします。

ほかにも「だるまさんが」のシリーズや「みみかきめいじん」「ふしぎなでまえ」などの作品があります。

『はつてんじん』川端 誠 / クレヨンハウス



釜坊は、おとうさんと新年に天神様へおまいりに行きました。厨台店でいろいろおねだりしますが、何も買ってもらえません。厨後に立揚が、定になるところがおもしろいです。

落語絵本のシリーズです。

『雪の上のなぞのあしあと』あべ弘士 / クレヨンハウス



ある夜、動物園のみまわりをしていた飼育員は、雪の上に見たことのないなぞのあしあとをみつけます。

作者は「あらしのよるに」を書いた人で、25年前北海道の旭山動物園で飼育員をしていたそうです。

<マメちしき>  
1月12日は スキーの日



1911 (明治44) 年のこの日、オーストリアのレルビ少佐が、新潟県の高田陸軍歩兵連隊の青年将校にスキーの指導をしました。これが、日本人初のスキーとなりました。

1月 図書館の予定

→ 冬休みの本返却期間

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
→	7	8	9	10	11	12
○	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		

朝の読み聞かせ(ブックメイト) 19日 (3, 5年生)

今年もよろしく!!

1月16日(火)

本をかりると図書館おみくじがひけます。(先着200人) (ひとり1日1回) おたのしみに!